（別添資料１）

事業所名　イロハ 戸塚（放課後等デイサービス）

支援プログラム（参考様式）

作成日　R8 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念	将来の選択肢を広げ、子どもたちの自立と社会参加を実現する			
支援方針	当教室では、中学生・高校生をメインに、将来の就職を意識したプログラムを実施します。 「パソコンスキル」「ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）」「実践トレーニング」「コミュニケーション」「職場体験実習」を行うことで、子どもたちの就職、就職後の定着を目指しています。			
営業時間	10 時 00 分から 18 時 00 分まで		送迎実施の有無	あり　（なし）
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	社会に出た時に困らないよう、「SST」や「実践トレーニング」を通じて、睡眠や食事などの基本的な生活習慣を身につけられるように、一緒にスケジュールを考え、自己管理ができるよう支援を行います。また、学童期や青年期においては、日々の生活だけでなく、個々のメンタルヘルスにも重きを置いています。適切な自己有能感や自我同一性を育むため、健康的な活動やQOLの向上につながる余暇の提案を行い、生涯にわたる趣味の獲得や将来の生活のサポートをします。		
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えています。進学・就労・日常生活に必要なスキルを向上させるために、「実践トレーニング」や「職場体験実習」、「余暇活動」などを通じて手指の巧緻性を高める作業や物品操作性技能を向上させる作業を行います。これには、手先を使った細かい作業を正確に行う能力や、物を持ったり操作したりするスキル、ハサミやドライバー、鉛筆などの道具や機器、日常的な物品を使いこなすためのスキルの向上が含まれます。さらに、楽しみながらスポーツを行うことで、将来の就労に必要な最低限の体力を向上させることや集団活動の中では適切な声の大きさの感覚を学ぶ機会を提供します。		
	認知・行動	読む・書く・聞く・見る・推測する力、および耳で覚える記憶や目で覚える記憶を養うために、眼球運動や音韻の違い、情報処理のスピードや認識の仕方を		
	言語コミュニケーション	調理レクリエーションや作品展の準備、チームスポーツやチーム対戦ゲームなど様々な活動を通じて、他者との実践的なコミュニケーション能力を向上させるトレーニングを行います。これにより、言語的および非言語的なコミュニケーション能力の向上を目指します。 また、聴覚的および視覚的な指示の理解や受動と能動の使い分け、相手を考えたコミュニケーションパターンや語彙の習得を支援します。さらに、SSTや日常会話の中で挨拶や適切な言葉遣いを増やし、言葉の言い換えや伝わりやすさを考えることで、社会に出たときに困らない言語力を養います。		
	人間関係社会性	将来の就労や自立に向けて必要な社会スキルを身に着けていくことを目指し、模擬的な職業訓練やSSTでの題材として自己理解、他者理解、気持ちの伝え方、ヘルプの出し方について実践的に学ぶことやリスク管理や報連相などの社会人マナーを知る機会を提供します。また、余暇活動や集団活動の中でどのような工夫をすることで遊びや活動が成立するのか考えるよう促し人間関係の構築のスキルに結び付けていくことを目指します。さらに、公園や博物館見学等の外出イベントを通して公共交通機関の使い方や公共の場面でのマナー守ること、対人スキルを学ぶ機会を提供します。		
家族支援	ご家庭でのお子様の様子などを把握する為に、必要に応じて電話や対面での面談を行います。また、年に一回程度の保護者会や保護者参加型のイベントを行うことで保護者同士でも情報共有できる機会を設けます。		移行支援	子どものアセスメント結果や個別支援計画書を元にモニタリングや担当者会議、面談を通して共有します。必要に応じて進学先や就労先との情報共有や連携を行います。
地域支援・地域連携	・地域のイベントへの参加 ・地域の方をご招待するイベントの開催 ・各種関係機関(学校、相談員など)との連携		職員の質の向上	・カンファレンス(毎日) ・法人内実施の研修会(月1回程度)やeラーニングを活用した学びの機会 ・スタッフの支援の悩みに対する相談体制
主な行事等	・博物館や工場などの見学、季節を取り入れた調理活動やイベント(夏祭り、クリスマス会など),作品展やバザーの実施等 ・法人内事業所の合同イベント（介護事業所でのイベントでの模擬店出展や小学生の通所する事業所を招いてお祭りを行うなど）			